

国労千葉運輸区分会機関紙
発行責任者 鶴岡 良男
編集 教宣部

千葉運輸区新聞



年末手当
2.00ヶ月
年間4.00ヶ月
2019年
年間6.09ヶ月
何と2.09ヶ月減

株主へ安心のメッセージ
社員へ衝撃のメッセージ!

JR東日本は、11月11日年末手当について回答を示した。何と、2.0ヶ月という低額回答であり、私たちの要求とはあまりにも乖離した回答であり、怒りを禁

じえない。ボーナスで住宅ローンの支払い、月々の赤字の生活費補填等々苦しい声が伝えられる中で、社員に対して衝撃のメッセージの発出である。一方で、

株主に対しては、コストを確実に削減して、配当は従来どおりであるという安心のメッセージであろう。改めて、この会社がどこを向いているかははっきり示した回答である。

**社員にも利用者にも背を向けて
この会社はどごへ向かうのか**

回答で会社は、「働き方改革、仕事の進め方・組織の在り方をさらに変革」しると、社員に対して今まで以上に、職場や職種にこだわら

ず更に働けと促している。今後、ワンマン運転の拡大・みどりの窓口削減・駅の営業時間短縮・無人化と、利用者への不便を強

いる施策も目白押しである。社員と利用者にも背を向けて、今後の会社の未来に理解を得られると考えているのだろうか。

